

資料

オーエスキー病の清浄化対策について

山本 健久 (農林水産省 消費・安全局動物衛生課)

Yamamoto, T. (2011). Control strategies for Aujeszky's Disease in Japan.

Proc. Jpn. Pig Vet. Soc. 58, 19-20.

キーワード：オーエスキー病、清浄化、ワクチン

豚の伝染性疾病対策において、オーエスキー病は豚コレラに次いで重要な伝染病であるといえる。豚コレラについては、強力なワクチンを用いて清浄化が進められた結果、平成19年には国際的にも清浄国として認定された。一方、オーエスキー病については、平成3年に「オーエスキー病防疫対策要領」が策定され清浄化対策が開始された。

防疫対策要領に基づく清浄化対策の開始以降、国内におけるオーエスキー病の発生は増加こそしなかったものの、発生県数は大きな変化なく推移し、同様の対策を維持したままでは、清浄化が見込めない状況となった。こうした状況を改善するため、平成20年6月に防疫対策要領が大幅に改正された。この改正においては、統計学的に必要なサンプルサイズを規定したサーベイランスにより、地域の汚染状況を監視しつつ、汚染状況に応じて地域ごとに段階的に清浄化を進めていくこととされた。また、清浄化の方法として、浸潤地域におけるワクチン接種の徹底と、感染豚のとう汰・更新が改めて位置づけられた。ワクチン接種と感染豚の更新が清浄化対策において重要な役割を担うこととなったため、ワクチン接種に加えてとう汰更新に要する費用についても、国が実施する補助事業の対象とされた。こうして強化された防疫対策要領と補助事業を併用することにより、平成20年度から5か年計画での清浄化事業が開始された。

同事業によってオーエスキー病の清浄化を達成するためには、対策の成否を分析し、明らかになった課題を踏まえて防疫対策要領を見直すべきと考えられたことから、平成21年12月に、浸潤県を対象に、清浄化の進捗状況や各種対策の実施状況および清浄化対策における課題についての調査を行った。この結果、ワクチン接種推進の端緒となる地域防疫協議会の設置に至っていない地域が残っていること、感染豚のとう汰が進

んでおらず、補助事業の利用が進んでいないこと、清浄豚の流通のための検査が不十分であることなどが明らかとなった。また、一部地域でワクチン接種が進んでいないことも反映して、接種対象地域の接種率が8割程度であることや、接種対象農場における全頭接種が徹底されていないことも判明した。これらの課題を踏まえて、浸潤県の担当者を集め、課題について周知するとともに必要な対応について意見交換を行った。ここで得られた意見も考慮した上で、平成23年3月に改めて防疫要領が改正された。この改正においては、地域ごとの清浄化の進捗状況をよりの確に反映できるよう、地域ステータスの定義を見直すとともに、ワクチン接種については、接種の補助の要件を緩和して、地域での接種の取組が進んでいれば、一部農場でのワクチンの中止を可能とするとともに、定期検査などの要件を課した上で、繁殖豚のみにワクチンを接種することも制度に盛り込んだ。また、感染豚のとう汰更新を推進するため、サーベイランス以外の検査で確認された感染豚をとう汰する場合であっても補助事業の対象とすることとしたほか、ワクチン接種の中止の要件として、既に農場内で見つかった抗体陽性の繁殖豚は全てとう汰する必要があることとした。

5年を目処として始められた清浄化の取組も折り返し地点となり、清浄化が進みにくい地域や、こうした地域での課題が具体的に明らかになってきているようである。23年3月の改正も、地域における課題の多様化に対応しようとするものであるが、こうした要件の緩和は、ともすると清浄化対策の空転につながりかねない。そうした意味では、今後の清浄化の正否は、地域レベル、農場レベルでそれぞれの清浄化の課題を見極め、用意された補助事業や検査のメニューから、適切なものを選択・適用できるかにかかっているといえる。大規模農場や、生産者の意見集約が困難な地域など、通り一遍の対応では事態の進捗につながらない場合や、防疫要領には具体的な対応が見いだせない場合

も増えてきている。こうした状況で、具体的な解決策を検討し、実行していくためには、地域の開業獣医師や家畜保健衛生所を中核とした地域協議会の活躍が、今後ますます重要と考えている。

地域ごとの取組によって、清浄化に近い地域を着実に清浄化し、清浄化の端緒についた地域ではワクチン接種を確実に実施することで、最終的に国内の清浄化が達成されるものと考えられる。その意味で、清浄化の進捗には、地域ごとに具体的な目標がたてられ、これが達成されていくことが不可欠である。オーエスキー病の清浄化という最終目標を達成するため、地域で活躍される本会会員各位のご支援をお願いしたい。